令和7年度　政務活動費支出整理簿

（会派名　　生活者ネットワーク　　）

経費項目	広報費		
整理番号	月　日	支出額（円）	支　出　内　容
1	4月13日	114,026	市議会通信発行（55，000部）
2	10月14日	115,166	市議会通信発行（55，000部）
小　計		229,192	備　考
合　計		229,192	

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。　　整理番号 1

調査研究費	
視察研修費	
広報費	○
広聴費	
資料作成費	
資料購入費	
事務費	

【内容説明欄】

市議会通信発行（55,000部）

整理番号 1

領収書

ラクスル

生活者ネットワーク様

取引年月日：2025年04月13日(日)

領収書番号：R-250410274770

下記正に領収いたしました。

合計金額 （税込） **114,026円**

ラクスル株式会社 [redacted]

10%対象　114,026円（内消費税: 10,366円）

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー19F

登録番号：T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
[redacted]	チラシ・フライヤー / A4 / 両面カラー / 光沢紙(コート) / 標準：90kg	55,000部	103,660円	出荷予定日: 2025年4月14日 市議会通信202504

「*」は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 103,660円
小計（税抜）	103,660円
合計金額（税込）	114,026円

お支払い方法: クレジットカード

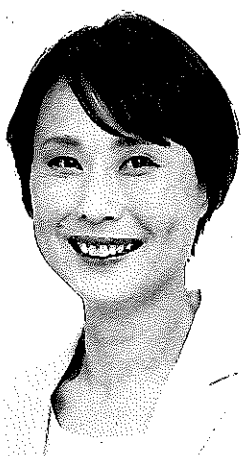
お客さまへ（必ずご確認ください）

本書面についてご不明点などございましたらお問合せフォーム（https://raksul.com/contact/）からご連絡ください。



ひとりにしない！子育て・介護

生活者ネットワークの 市議会通信

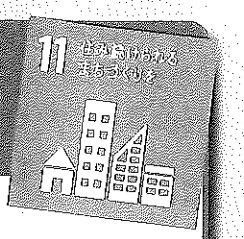


市議会議員
後藤ゆう子

市議会議員
かとう涼子

市民の声を、私たちが市政へ届けます

だれも取り残さないまちづくりへ！ 生活者ネットの政策が、一歩前進



◎ひきこもり地域支援センターが、今年７月にいよいよ開設！

相談支援の拠点となるセンターが、旧谷戸高齢者在宅サービスセンター跡地に開設します。居場所づくりや家族セミナーに加えて、当事者と支援者をつなぐネットワークづくりを担います。

◎まちなかベンチの設置で、安心して快適に歩けるウォーカブルなまちへ！

未利用市有地や、都市計画道路の残地等を活用してベンチが設置されます（年間５ヵ所程度）。また民間事業者の協力により、集合住宅や大規模店舗の沿道等にもベンチの設置が進められます。

◎はなバスの通れない地域に、ワンボックスカーを使った実証運行を実施

向台町・南町・柳沢の公共交通空白地域と田無駅北口とを結ぶ、新たな移動手段の実証運行が下半期に実施されます。高齢化の進む地域で、多くの方々に活用いただけることを期待しています。

◎北杜市との間で、森林整備によるカーボン・オフセット事業がスタート！

西東京市の友好都市である北杜市の森林を整備することで、CO_2吸収量の増加を図り、本市より排出される温室効果ガスの一部を相殺（カーボン・オフセット）します。また、子どもを対象とした森林整備や木工体験など、森と生活のつながりを学ぶ環境学習も実施します。



ゆう子と涼子の「控室放談」

学校給食が提供できない？！ いまこそ委託現場の労働環境を見直そう！

涼子　碧山小と明保中の学校給食が、新学期から提供できなくなっているよ。

ゆう子　これまで調理を受託していた事業者が、今年に入って急に契約を辞退。その後、50社に当たったものの新しい委託先が見つけられずや。なんとか外注弁当は手配できたとはいえ……まさに異常事態。

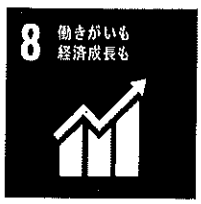
涼子　契約辞退の理由は、去年の秋、立て続けに異物混入事故を起こした責任からだというけれど、古くなった調理機器を安全点検も不十分なまま使わせてきたのだから、教育委員会の責任は重いよ。

ゆう子　調理室の設備は老朽化しているし、調理の仕事はただでさえ過酷なのに、給食室にはエアコンも設置されてへんし、ほんま申し訳ない気持ちやで。

涼子　その問題は、議会でも繰り返し取り上げられてきたよね。さらに、中学校と小学校の給食を2度に分けて作るから、現場は分刻みのスケジュール。私は、そうした過酷な労働環境も、事業者の撤退を招いた要因の一つじゃないかと思ってる。

ゆう子　事業者はそんなこと口にできひんやろうけどね。いまはどこもかしこも人手不足。人を大切にしない職場に、人は定着しないよ。市はこれまでいろんな直営サービスを手放してきたけれど、このままだと近い将来、受託先が見つからなくなるかもしれへん。これを機に、委託のあり方や委託先の労働環境を見直すべきやわ。

涼子　そうだね。もっと言えば、市は調理や清掃などの直営サービスを、一定程度残すべきだと思う。今回の件で、私たちのくらしを支える現業労働の大切さを、改めて痛感したね。温かくて栄養のある給食が、一日も早く再開されますように！





後藤ゆう子の議会質問から

◎市民農園も農地も残そう！ 活かそう！

自分で育てた野菜を食卓に乗せることに喜びを感じる、あるいは土に触れ農作業に親しみたいという市民が増加しています。西東京市が開設する市民農園は3園あり、倍率は２～３倍と人気です。さらに2018年に都市農地の貸借の円滑化に関する法律が施行され、農業者が市民農園を開設しやすくなり９園できました。農地が保全され、市民ニーズにも応えられ歓迎すべきことです。今後も市営の市民農園の存続を求め、農業者が開設しやすい補助制度などを提案し、市民益につながる「農あるまちづくり」を応援していきます。

◎携帯トイレは実際に使用してみて

大地震で建物の倒壊などで死亡するよりも、避難所等で体調を崩し亡くなる災害関連死の方が多いという実態があります。被災時にトイレの使用ができなくなり、体調を崩すことがないよう携帯トイレの備蓄は重要です。市は平時からの備えの見直しや防災意識の向上を目的に、各世帯に携帯トイレ15回分と啓発リーフレットを配布します（来年１～３月予定）。届いたら、そのまま備蓄用に取っておくのではなく、実際に使用してみることが重要です。



かとう涼子の議会質問から

◎ヤングケアラーとその家族を支えられる地域へ

大人が担うような家事や介護を、日常的に担っているヤングケアラー。現在、行政が把握している数は40名。しかし、家族や本人がサポートを拒み支援につながらないケースもあります。

今年度は新たに、全校アンケート調査が実施されるため、支援の必要な児童生徒がさらに可視化されることになります。

一人でも多くのヤングケアラーが、安心して相談できる大人を見つけられるよう、地域と一体となった支援体制の構築を求めました。

◎公園遊具を壊れたままにしないで！予防保全型の施設整備へ

「立ち入り禁止」のテープでぐるぐる巻きにされた遊具が、あちこちの公園で見られます。新年度予算では、公園遊具等の維持補修に関する費用が、大幅に増額されました。すでに使用中止の約10件に加え、緊急度が高いとされる約70件分の遊具の修繕費が確保されることがわかりました。

壊れてから直す事後対応型から、予防保全型の施設整備へと切り替えが進むことを期待しています。

議会TOPICS 混乱が続いた3月議会
――幹部職員に対する決議を全会一致で可決

止まって、進んで、また止まり…。まるで各駅停車のようだった３月議会。開会後に発覚した給食調理の契約辞退問題で、審査は停止。予算を訂正した後も、田無三中の建替えに対する執行部の答弁訂正で審査は混乱し、市長、教育長は謝罪を繰り返した。

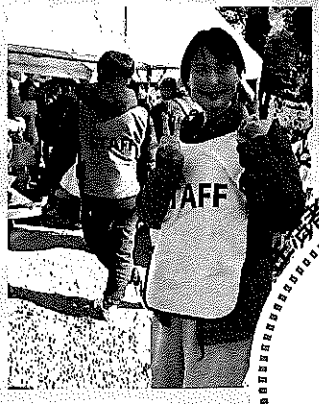
庁内連携の不徹底で、事後処理に膨大なエネルギーが費やされ、行政不信を招いているのは非常に残念。市議会として幹部職員に対し、職責を自覚した職務遂行を求める決議を全会一致で行った。



▶香害を学ぶ展示会に参加



▶イスラエル軍元兵士ダニー・ネフセタイさんの講演会。平和な社会のつくり方を学びました



◀「だがしの日子ども縁日」でボランティア

生活者ネットワーク 3つのルール

選挙はカンパとボランティアで行います。

議員はローテーション。職業化、特権化しません。

議員報酬は市民の活動資金として使い、お金の流れは公開します。

発行責任者：後藤ゆう子（市議会会派：生活者ネットワーク代表）
〒202-0015　西東京市保谷町6-25-1-102（会派事務所）
TEL：042-453-4121　FAX：042-410-0014
発行日：2025年４月18日　　nishitokyo@seikatsusha.net

領収書添付用紙

経費項目※1 ＊該当費目に○をつけてください。　　整理番号　2

調査研究費	
視察研修費	
広報費	○
広聴費	
資料作成費	
資料購入費	
事務費	

【内容説明欄】

整理番号 2

領収書

ラクスル

生活者ネットワーク様

取引年月日：2025年10月14日(火)

領収書番号：R-251010038884

下記正に領収いたしました。

ラクスル株式会社 [redacted]

合計金額 (税込)　**115,166円**

10%対象　115,166円（内消費税: 10,469円）

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー19F

登録番号：T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
[redacted]	チラシ・フライヤー / A4 / 両面カラー / 光沢紙(コート) / 標準：90kg	55,000部	104,697円	出荷予定日: 2025年10月14日 市議会通信202510

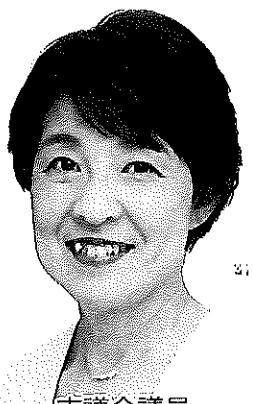
「*」は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 104,697円
小計（税抜）	104,697円
合計金額（税込）	115,166円

お支払い方法: クレジットカード

お客さまへ（必ずご確認ください）

本書面についてご不明点などございましたらお問合せフォーム（https://raksul.com/contact/）からご連絡ください。



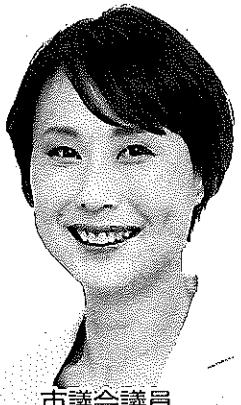
市議会議員
後藤ゆう子

政治をもっと、身近なものに

生活者ネットワークの 市議会通信



市民の声を、私たちが市政へ届けます



市議会議員
かとう涼子

後藤ゆう子の 9月議会の一般質問から

◎気候変動対策にグリーンインフラを活用しよう

この夏、都内では豪雨が何度も発生し、市内でも道路が冠水し、水深が膝丈に達するところもありました。猛暑日も過去最多を記録し、今後も増えるであろう気候変動による災害や健康被害への対策が急がれます。

「雨庭（あめにわ）」――聞きなれない言葉だと思いますが、地上に降った雨水を下水道に直接放流することなく一時的に貯留し、ゆっくりと地中に浸透させる構造を持った植栽空間のことを指します。これにより下水道への負担が減り、内水氾濫や道路冠水といった都市型水害の抑制に貢献します。道路沿いの残地や住宅街の小規模緑地に雨庭を整備することで、ゲリラ豪雨の被害対策にもなります。強い日差しを遮るために、枝葉が茂る樹木を街路樹にしたり、公園や駅前などのベンチがあるところに緑陰をつくることで、熱中症予防やヒートアイランドの緩和にもなります。

自然の持つ力でまちづくりを進める「グリーンインフラ」を、今後も提案していきます。

かとう涼子の 9月議会の一般質問から

◎PTAの解散とコミュニティへの影響

市内でPTAの解散が相次いでいます。すでに小学校７校、中学校２校でPTAが解散もしくは有志の集まりへと転向しました。負担感や役員のなり手不足に加え、「PTAの入退会は任意」との認識が広まったことで、加入者数も減少しています。

子どもたちの見守りや行事の下支え、保護者間の連絡調整機能を通じて、地域に顔の見える関係を築いてきたPTA。地域を構成する重要な自治組織ですが、時代に応じた見直しが求められているのです。

一方、PTAは地域活動の入り口にもなってきました。育成会や避難所運営協議会、民生委員にもPTA経験者が多いことを思うと、今後、地域の担い手はますます先細ることが予想されます。

行政は「学校を核とするまちづくり」「地域課題を地域で解決できる仕組みづくり」を進めようとしていますが、地域のボランティアはすでに一人二役、三役を担っており、高齢化も進んでいます。新たな担い手が出てこないことには、行政の提案など絵に描いた餅。実態との乖離が気になります。

9月議会で取り上げたテーマ

- 人生100年時代の社会参加
- 固定的性別役割分担意識の解消
- マイクロプラスチック対策
- 人工芝のマイクロプラスチックと有害化学物質問題
- 職員への香害啓発・窓口担当のフレグランスフリー推進
- 廃食油を公共施設で使用する石けんに変えて資源循環推進
- ケアラーズスクールの成果と課題
- 学校給食の地場野菜使用率の向上
- 健診増進ポイントアプリ「あるこ」の周知
- 都市農地保全に資する生産緑地の貸借の状況　ほか



▲一般質問の音声に手話で自己紹介

9月議会で取り上げたテーマ

- 身寄りのない高齢者の支援
- 外遊びのできない夏休み体育館開放
- 多文化共生推進指針の策定
- 障がいのある新1年生への介助員の配置
- こども誰でも通園制度の進め方
- ひきこもり支援事業と家族会の設置
- 旧無三中の複合化と身近な相談窓口のあり方
- 高齢者見守り配食サービスの委託料見直し
- 市の財政運営と基金取り崩しの状況
- 再エネ電力への切り替えとCO_2削減効果　ほか



▲障がい者（児）とスポーツを楽しむつどいに参加



後藤ゆう子の議会質問から

◎大人気のふるさと納税 その陰で西東京市は税収が10億円流出

2024年度に西東京市が受け入れたふるさと納税は109件で、合計額は約800万円でした。一方で、他自治体へ「ふるさと納税」した西東京市民は約2万３千人、金額は約10億円です。

テレビCMで流れる牛肉や果物などの魅力的な返礼品を目当てに、ふるさと納税をする人が年々増加していますが、本来、市に納められるはずだった市民税が、他自治体に流出しています。流出分は地方交付税により75％が国から補填されますが、減収額が市財政に与える影響は小さくありません。

7月に組織された広報プロモーション課は、市の魅力を発信し、魅力のある返礼品を開発するなど、ふるさと納税の受け入れを増やす取り組みを進めています。しかし、加熱する返礼品競争や、他自治体へ流出する税収への対策は、現行の制度ではできません。市民に向けて、ふるさと納税制度のしくみをホームページに掲載することを要望しました。



かとう涼子の議会質問から

◎オープンから約１年、利用が伸び悩む市民文化プラザ

昨年12月にオープンした市民文化プラザ。多目的スペースに会議室、防音室を備えた施設の利用率は、年度末時点で26.2％と低迷。民間複合施設の４Ｆに設置されたことで、人目につきにくく、市民が気軽に立ち寄れるスペースになっていません。

施設運営と維持管理には年間約6500万円かかります。「公民連携によるにぎわいの相乗効果」が実現しないのはなぜなのか、厳しい検証が必要です。

◎不登校は過去最大、教育相談の利用は減少傾向

2024年度の市内不登校の児童生徒は、小学生166人(出現率1.67%)、中学生283人(同6.64%)と過去最高を更新。低学年から不登校になるケースや、きょうだい不登校が増えているのも気にかかります。家での過ごし方や心身面のサポートに悩む保護者が多いのに、教育相談の利用率は減少傾向。当事者が何に困り、どんな支援を必要としているのかの把握が決定的に足りていません。調査に基づく支援の再構築を求めました。

まちづくりカフェ

みんなで知ろう、考えよう！

香害パネル展

柔軟剤などの香りが、つらいなって感じたことはありませんか？
ガマンしていると、化学物質過敏症になってしまうかも…。
香害の原因と対策を、一緒に知って、調べて、考えよう！

日時：11月19日(水) 14時～16時
会場：J:COMコール田無会議室A ＊詳しくは、生活者ネットワーク（担当：後藤）まで

＊同時開催ワークショップ＊
「このニオイ、わかりますか？」
講師：松田博美さん
（シャバンマシーストM）

トピックス

小中学生の1割が「香害（こうがい）」で体調不良に

柔軟剤などに含まれる香料の人工化学物質で、体調不良になる経験をした児童生徒が1割いることが、日本臨床環境医学会・室内環境学会の調査で明らかになった。啓発の強化や被害防止対策が必要だ。



▶同僚議員と世界気候アクションに参加



▶議会運営委員会で大津市を視察



◀議会報告会を年4回開催しています

選挙はカンパとボランティアで行います。

議員はローテーション。職業化、特権化しません。

議員報酬は市民の活動資金として使い、お金の流れは公開します。

発行責任者：後藤ゆう子（市議会会派：生活者ネットワーク代表）
〒202-0015　西東京市保谷町6-25-1-102（会派事務所）
TEL：042-453-4121　FAX：042-410-0014
発行日：2025年10月20日　　nishitokyo@seikatsusha.net